



このように島を使って立ち上がりのラインを規制するようにパイロンを配置する場合、同じコース設定でもシーズン前半と後半では意図的に変えています。前半に出題する場合は、サイドターンで小さく回れないとタイムが出難いように、後半の場合は、サイドが得意か否かで自分で曲率、回転半径、ラインを考えて走れて、このターンだけでタイムが決まってしまうように島から少し離れた位置に置くようにしています。練習の成果を考慮してラインを組み立ててもらいたい狙いがあります。